

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 1月 4日

公表:令和 6年 3月 13日

事業所名 瀬戸市のぞみ学園

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・室内の中で、パーティションで区切ったり、机の配置を工夫する等、個々に合わせて落ち着ける場所を設定している。 ・空き部屋があるため、活動内容によって使用し、安全に過ごせるようにしている。 ・子どもが好きなところで遊ぶことができるのでよい。密になっていない。 ・一人一人が十分に遊べるスペースがある。 ・あんぱんまんの部屋やねこの部屋が空き部屋となっているため、雨天時やリズムあそび等の活動、カームダウンの場として、有効利用できている。 ・空き部屋を有効活用し、各クラスのスケジュールに則ったクラス運営をしている。 ・危険そうな場所や視覚的に気になる場所にはパーティションをしている。 ・個々の姿に合わせて、あそびや生活が落ち着いて出来るよう環境を工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空き部屋を有効利用したり、各クラスで物の配置やパーティションなど工夫しながら、過ごしやすい環境を設定していきます。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・代替保育士や看護師がいる事で、日によっては手厚く療育ができています。 ・療育開始前に打ち合わせを入念にしているため、職員の休暇が重なっても体制が組めている。 ・一人で4人を見なければならぬという事はなく、個々の姿や活動に合わせてフォローをしてもらう事ができるため、個々に合わせた支援に繋がっている。 ・基本的な配置数は適切だが、子どもの姿や活動内容に応じて必要な人員を配置している。 ・配置数は基準を満たしているが、アレルギー対応やその日の児のコンディションによって、職員の配置を工夫して行っている。子どもが落ち着いている様子であれば、職員がすぐ対応できるような場所で仕事をしながら、時間を有効活用するように努めている。 ・園長代理がフリーで動いている事で、突発的な代替業務が出来る事は大きい。クラスの状況や全体の把握もし易くなったと思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務作業の見直しや効率よく作業を行う事で、仕事量の軽減を検討します。 ・休暇が重なった際には、担任同士が協力し、適切な配置が出来るよう工夫しています。 ・引き続き、活動や子どもの姿に応じて、職員配置を工夫していきます。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援やスケジュールなどを表示し、見通しを持ち、安心できる環境になっている。 ・パーティションを設け、個人マークを分かりやすく示してある等、視覚的にわかりやすくされている。 ・視覚支援や要求カード等、子どもたちが過ごしやすい環境が工夫されている。 ・要求カードの設置、個々に合わせてスケジュールや絵カードを活用している。 ・視覚的にわかりやすいように、スケジュールや場所の写真等、使用している。 ・スケジュールの提示や個々に合わせて絵カード等を使い、分かり易くしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全に過ごしやすいよう環境を整備して、スペースの確保に努めています。 ・引き続き、視覚的に分かりやすい環境を工夫し、落ち着いて過ごせるようにします。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、清掃や消毒をしている。 ・玩具の消毒やトイレ掃除は、業者の方が来て下さり、丁寧に消毒や清掃がされている。 ・こまめに玩具を消毒するなど、感染症対策も行われている。医療的ケア児や体の弱い児が在籍する療育室は、床暖房があるなど室温調節がしやすい環境となっている。 ・毎日、清掃、玩具の消毒を徹底しているため、清潔に保たれている。毎朝、園庭や遊具のチェックをしているため、安全に遊ぶ事が出来ている。 ・活動に合わせて机の配置やじゅうたんの敷く位置を工夫している。 ・新棟は清潔が保たれており、クッションフロアーや床暖房等、安全、快適に過ごせるようになっている。 ・毎日の丁寧な清掃、消毒等を行い、清潔で心地よく過ごせる環境に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊具や療育室の消毒は継続して行い、清潔で安全な環境設定に努めます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|--|--|
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、反省会をし、子どもの姿や気付き、職員の関わり等を話し合っている。 ・行事の反省は必ず行っている。また、新任保育士が反省をする場を設けられている。 ・クラス職員と毎日の反省会で振り返る事が出来ている。 ・朝、夕の打ち合わせや反省会で、話し合い、改善点を確認している。 ・業務改善できるように、疑問に思った事や改善すべきと考える事は、声に出すようにしている。 ・毎日の打ち合わせや反省に加え、定期的なクラス打ち合わせも行い、担任の共通認識の下、療育を行っている。 ・日々の療育を振り返り、反省や改善点等の話し合いを行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、PDCAサイクルを意識した職員同士の話し合いの場を設け、業務改善を進めていきます。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会時に、学園への要望を問う事を行っている。 ・保護者からの要望、意見等があった時は、その日中に園長や園長代理に報告をしている。 ・困りごとがある際はできるだけより添えるよう、職員で会議をするなどしている。 ・保護者からの意向は、職員間で周知し、話し合いをしている。 ・事業所内アンケートに限らず、行事等で保護者にアンケートを取り、意見をもとに改善や工夫をしている。 ・保護者からの要望や意向は、職員間で話し合い、素早い対応に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、行っている様々なことにも、良い方法があれば職員一人ひとりが提案する意識を持ち、また提案しやすい状況にします。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・公開している。 ・されている ・瀬戸市のホームページで公開している。 ・保護者には好評内容を印刷して配布している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視点で見て、アンケート等でいただいた意見を参考に、より良い療育支援や保護者支援に繋げていきます。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・行っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援の質を上げていく努力をします。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・研修に意欲的に参加をしている。研修に参加した職員が、資料をや所感を回覧している。 ・外部の研修を受ける機会が設けられている。研修の情報提供も多くされている。 ・研修の情報提供、報告が多くある。 ・職員研修やケース検討を行っている。 ・午前中だけ行事の日等で、午後は職員が集まり研修を行っている。 ・園内研修や外部の研修に参加し、学んだ事を他の職員に伝え、共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修だけではなく、園内研修などを工夫し、学ぶ機会の確保に努めます。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・生活調査票を配布し、保護者の方の困り事や家庭での姿等を把握している。また、それを支援計画に反映している。 ・懇談が年に3回あり、月に1回母子通園があることで保護者のニーズを聞く機会が多く設けられている。 ・連絡ノートや個人懇談、母子通園を通して、保護者とコミュニケーションを取り、ニーズや課題を把握している。また、それを踏まえたうえで担任同士相談し合って作成している。 ・保護者の困り事や生活調査票をもとに、支援計画に反映している。 ・親の要望がない場合でも、個別に話を聞き保護者のニーズを探れるよう努めている。 ・子どもの姿や発達から課題を分析したり、保護者の思いを反映し、支援計画を作成している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもと保護者のニーズや課題を、客観的に分析し、児童発達支援計画を作成します。 |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・統一された資料を基に、一人ひとりの姿を把握している。 ・使用している。それらをもとに支援計画が作成されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、より適切なアセスメントができるよう研鑽します。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者の方の姿に合わせて、具体的な支援内容を設定している。 ・アセスメントシートを作成し、子どもが達成できそうな発達支援を考えられている。また、保護者のニーズを踏まえ家族支援や地域支援が計画に反映されている。 ・個別支援計画に記述している。 ・子どもの支援と共に家族の支援が出来るよう、具体的な支援内容を設定している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の権利擁護や意思尊重の視点をより意識できるよう職員周知に努めます。 ・今後も提供すべき支援を具体的な内容で設定していきます。 ・地域支援についても、できる範囲での支援を今後も考えていきます。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|--|----|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で一人ひとりの目標、支援方法を共有し、支援をしている。 ・支援計画をもとにクラス打ち合わせを行い、支援を実施している。 ・支援計画をクラス職員内で情報共有し、統一した支援を行っている。 ・職員間で支援内容を確認し、支援を行っている。 ・定期的にクラス打ち合わせを行い、計画に則って共通認識のもと行えるよう努めている。 ・定期的なクラス打ち合わせで確認している。 ・職員間で支援内容を確認し、統一した支援を行っている。 | ・今後も多角的に検討し、個々の支援に反映します。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・担任間で話し合い、今のクラスに合った活動を立案している。 ・クラス担任で話し合う機会がある。 ・不定期だが、リーダー会議を開き打ち合わせをしている。 ・月案会議や担任間で行っている。 ・担任間でプログラムの立案を検討している。 | ・今後も子ども達が、楽しさを支えに個々の発達を促せる活動プログラムを組んでいきます。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・その時、子どもたちが興味のある事から、活動を考え、意欲的に参加できるようにしている。 ・定期的に玩具を入れ替えるなど、意識的に工夫している。 ・子どもの興味や関心に合わせて、療育内容を工夫している。 ・生活の流れを固定化する事で落ち着いた生活が出来るが、活動の内容は変化を付けて取り組むようにしている。 ・興味を持っている事や好きな事を活動に取り入れ、楽しんだり、幅が広がるようにし、固定化する事がないよう工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもの姿や興味を持っている事を基に、活動内容を定期的に変更し、生活や遊びの幅を広げていきます。 ・季節に合わせた活動を取り入れたり、療育の方法(交流・グループ療育)を工夫したりしていきます。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせて、経験できるように組み入れて支援計画を作成している。 ・他児や職員との関わりを意識した働きかけが考えられている。 ・集会やクラス交流をし、普段より集団を大きくし、子どもの活動経験を増やしている。 | ・今後も様々な活動を通し、個別活動や集団活動を適宜組み合わせ、子ども達の育ちを支えていきます。 |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス、子どもたちが登園する前の約10分、クラス打ち合わせをし、その日の職員の動きや子どもたちに経験をさせたい事等を話し合い、連携を取っている。 ・療育開始前にその日の活動内容と予想される子どもの姿について打ち合わせをしている。 ・担任間、クラス内での打ち合わせを大切に、毎日必ず行い確認している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが、打合せの重要性を意識します。 ・月案、週案会議録を、より分かりやすく記載し、非常勤職員等への報告・周知を今後も継続します。 |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス、その日の子どもの姿や職員の関わりについて話し合ったり、どのような関わりをした事で、姿に変化があったか等を話している。 ・その日の反省点や支援方法などをクラス職員で確認している。 ・振り返る時間がある事で、新たな気付きや明日への支援に繋げる事が出来ている。 ・反省会でそれぞれの子どもについてや職員の動き、支援内容について話し合いをしている。 ①他クラスとの運営方法や子どもの関わり方等、認識が違う事もあり、問題提起をするが話し合う機会はなく、難しさがある。 ・毎日療育終了後に反省会を行い、振り返りや改善すべき点を話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員間で情報共有の大切さを意識し、支援を進めていきます。 ①会議の議題にあげてもらい、話し合いの場を設けます。 |
| 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの小さな成長や支援の内容を記録し、支援のきっかけになるようにしている。 ・定期的にクラス打ち合わせの時間が設けられ、支援の統一化を意識している。 ・個別記録を記入している。 ・療育終了後の事務時間に、クラス日誌や個人記録に記録している。 ・記録をし、次の支援に繋げている。 ②個人で記録は残しているが、検証、改善に至るまでの出来る幅は職員によって差が生じている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・記録や日々の振り返りを毎回行い、次の支援に繋がるように努めます。 ②個別記録は残していますが、その他外部の関係機関との会議等についても記録し残すよう徹底します。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|----|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの時期に、保護者の方へ姿を話し、共有している。また、職員も支援や子どもの姿を振り返りをしている。 ・保護者との懇談を設けている。 ・モニタリングを行い、見直しをしている。 | ・今後もモニタリングの面談等で把握した保護者の思いや共通理解したことを支援計画に反映していきます。 |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 各職種、役職から選出されている。 | ・障害児支援利用計画と児童発達支援計画の整合性が取れるよう連携していきます。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保健師が在職しており、助言等が聞ける。 ・外部の相談先である、子ども若者センター、相談支援センター等、学園生活での出来事や家庭環境等記録に残し、話し合いの場を設け連携を図っている。 ・保護者の状況に応じて素早い対応を行い、関係機関に繋げ、連携を取って支援を行っている。 | ・今後も健康課母子保健係、保育課、こども未来課、社会福祉課、子ども・若者センター、発達支援室、学校等、各関係機関と連携し、支援を進めていきます。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保健師が連携を取り、医療的ケア児が就学をする時に関わる予定の看護師が様子を見に来たり話し合ったりしている。 検討しなければならない事案が発生したときは情報共有をしている。 ・移行支援として、教育委員会や特別支援学校との情報共有や相互理解を図っている。 ・瀬戸市医療的ケア児等支援協議会に参加し、関係機関との連携連携に努めている。 | ・今後も他施設の見学等から学んだり、参考にしたりして、支援の質を向上していきます。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保健師、看護師が主治医に医療的ケア児の事を聞いたり、ケアについて聞いたりした。密に関わっている事で、連絡体制が整ってきている。 ・看護師を通し、セルフケアの進め方など情報共有を行っている。 ・看護師や保健師が主導で行っている。 ・保健師や看護師を中心に、子どもの主治医や訪問看護ステーション等協力医療機関との連絡や連携を行っている。 ・看護師が医療機関等と連携を取り、更に密に協力体制を整えていけると良い。 | ・看護師が、主治医や訪問看護の事業所などと連携を図れるように、協力体制を整えていきます。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ書を作成し、保護者の同意を得て、就学先や転園先へ引き継いでいる。 ・懇談で話し合う機会がある。マニュアルも作成されており統一的な支援をしている。 ・引き継ぎ書を作成し、就学先へ引き継いでいる。必要に応じて就学先の職員と話す場を設け、情報共有をしている。 ・支援の方法や配慮すべき事等をまとめた資料を作成し、就学先に情報提供している。また、直接引き継ぎを行っている。 | ・新型コロナウイルスによる社会情勢を鑑みて、今後も転園先の園と相互理解が図れるよう、継続的に関わっていきます。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との相談も受けながら、専門機関と保護者の仲介も担っている。 ・引き継ぎ書を作成している。 ・引き継ぎ書を作成して、保護者の同意の下、就学先へ情報共有している。 | ・新型コロナウイルスによる社会情勢を鑑みて、今後も小学校や特別支援学校と相互理解が図れるよう、継続的に関わっていきます。 |
| 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所からの研修の案内があり、参加することができる。 ・愛知県知的福祉協会児童発達支援部会の研修や会議等に参加している。 ・六市一町の会に参加し、近隣の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センターとの情報共有を行ったり、研修を受講している。 ・児童発達支援部会のオンライン研修に参加したり、障害者支援センターの職員と情報共有している。 | ・新型コロナウイルスによる社会情勢を考慮しつつ、他施設への見学や専門機関の研修等に参加できるようにしていきます。 ・今後も他市の児童発達支援センターや他事業所等と連絡を取り合い、より多く情報共有が行えるよう努めます。 | |

関係機関や保護者との連携

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|--|----|--|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・年長児を中心に、午後の室内あそび時に交流に行っている。 ・隣接する南保育園に交流へ行っている。 ・保育園との交流が設けられている。 ・隣接する保育園とスムーズに交流ができるように、保育園職員との話し合いの機会を設けている。 ・コロナ禍は行われていなかったが、保育園での交流する機会を再開した。 ・コロナ禍前の行事等を徐々に戻していきたい。 ・隣の南保育園との交流から徐々に始められるよう、計画や打ち合わせをしている。一部ではあるが交流の機会を持てた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる社会情勢を鑑みて、感染症対策を行いながら、できる範囲で少しずつ交流の機会を持っていきます。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設長が代表して参加している。 ・委員として参加し、関係機関との連携や情報共有を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、資料の回覧や会議の内容を職員会議等で周知するよう努めます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に伝えたり、必要に応じて電話をして伝えている。 ・母子通園時、個人懇談時に伝え合っている。 ・子どもの登降園時に話している。長時間話が必要な場合は電話や懇談の機会を設けるなど工夫している。 ・登降園時、連絡帳を通して伝えている。 ・登降園時や母子通園等を通して、子どもの姿をこまめに伝えて、共通理解を図っている。家庭での状況も聞き、姿の把握に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、保護者の思いに寄り添い、子どもの発達状況について、分かり易く丁寧に伝え、共通理解を持つようにしていきます。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・行っている。ペアレントトレーニングの研修にも職員が参加している。 ③参加しやすいように自園内で出来ること良い。 ④家族支援プログラムに関する研修案内をしているが、それがペアレントトレーニングの事と理解されていない為、周知が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や懇談時などで相談があった場合は、保護者の話に傾聴し具体的な助言をしています。 ③引き続き、学園内に講師を招き、講演会を開催していきます。 ④今後も、保護者の対応力向上に繋がる研修の実施や研修会への案内を行うと共にペアレントトレーニングの一環であることを周知していきます。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用時に説明がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も変更があった場合は、速やかに保護者に周知します。 ・担任など学園職員にも周知していきます。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・今の姿、ねらいや支援の内容を丁寧に説明している。 ・懇談時に同意を得ながら計画の説明をしている。 ・懇談を設け、丁寧に説明を行い、同意を得ている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続していきます。 |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の悩み、気持ちを受け止めて、丁寧に応えている。 ・必要に応じ、機会や場所を設けている。 ・連絡ノートに記載された内容に対して、必要に応じて手紙を書く等して、助言を行っている。 ・保護者からの相談には適切な助言をしたり、悩みを聞く中で思いに寄り添いながら、出来るような支援の提案をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も随時相談に応じ、保護者の思いに寄り添い、具体的な支援ができるよう努めます。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会がある。保護者会主催の行事もある。 ・保護者会長と密に連絡を取り、保護者会の運営がスムーズに進むようにしている。 ・保護者会欠席の保護者に対して、手紙や内容の説明、確認をする等、個別の支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会と連携し、保護者同士のつながりが深まるよう継続して支援をしていきます。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて懇談を設けている。 ・検討事項があれば、職員間で話し合う機会がある。 ・相談や申し入れ等の検討事項は、その日の打ち合わせ等で確認し、対応している。 ・保護者の要望があった時には、出来る限り翌日には返事を返すよう努めている。 ・保護者の状況に応じて、懇談を設けたりし、迅速な対応に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も相談や申し入れに、迅速に対応するよう努めていきます。 |
| 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・学園だよりやクラスだよりにて周知している。 ・園だより、クラスだよりを発行したり、マチコミメールで必要な事は随時、発信している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだよりのような紙媒体の手紙の他に、マチコミメールも活用しつつ、継続して発信していきます。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|--|--|
| 保護者への説明責任等 | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報がいった資料の棚を鍵付きにするなど留意している。 ・特に名前の表記があるものについては、取り扱いに十分注意している。 ・個人情報の取扱いに関する研修を受ける等、対応方法の周知を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、取り扱いに気を付け、職員間で周知もしていきます。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・母子通園などで方法を知らせたりしている。 ・普段保護者が悩んでいる事に配慮し、保護者によって話す内容には気を付けている。 ・連絡帳の記載や電話対応等、個々に応じて対応している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧な対応に努めて、継続していきます。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを受け入れや、のぞみ展を催すなどしている。 ・高校生や大学生のボランティアを受け入れ、のぞみ展や教育展を通して、地域の方へ知ってもらおう機会としている。 ・行事への招待は行っていないが、瀬戸市役所・やすらぎ会館・瀬戸市立図書館・公立陶生病院・瀬戸みどりのまち病院に学園紹介の展示物を展示し、市民に知っていただく機会を設けている。(のぞみ展) | <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢を鑑みて、今後ものぞみ学園他、市内複数箇所(陶生病院、市役所、みどりのまち病院、やすらぎ会館等)で巡回展示し、少しでも多くの方に、学園を知ってもらう機会とします。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施している。マニュアル等も職員は持っている。 ・毎月必ず訓練を行っている。 ・年間を通して、緊急時の訓練は行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、防犯訓練や通園バス事故の訓練、医療的ケア児の救急搬送を想定した訓練等、様々な状況を想定し、行っていきます。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も防災意識を持ち、様々な状況を想定し、防犯訓練を実施します。また、保護者にもマニュアルを周知し、訓練の様子を伝えます。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・看護師を通して情報共有をしている。 ・看護師と相談しながら、状況や緊急時の対応等、確認している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や主治医の意見を参考に、状況把握をして、対応の周知に努めます。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示を元に栄養士、担任等が協力して行っている。 ・主治医から指示書を提出してもらい実施、個々に応じた対応をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者や主治医の意見を参考に、状況把握をして、対応を行っていきます。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・怪我や危険な事が起きた時には、ヒヤリハットを作成し、周知をしたり改善に繋げたりできるようにしている。 ・ヒヤリハットがあった時はその日のうちに共有している。 ・共有し、自分自身の見直しになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、情報共有を行い、職員の周知に努めると共に、検討会も実施していきます。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めや学園の夏休み時に、研修を実施、資料を読む等、適切な対応を確認している。 ・定期的に読み合わせを行うなど、意識向上に努めている。 ・職員研修を行い虐待防止への意識を高めている。また、職員間で話しやすい雰囲気や相談し易い体制を作り、園児の対応で困った時は、1人で抱え込むのではなく、職員間で協力しながら、対応していけるよう努めている。 ・年度初めには必ず、全職員参加の下、研修を行い、確認している。 ・研修は行っている。また、⑤虐待ではないが職員との関わりで適切ではないかと思った時は、伝えるようにしている。しかし、個人だけの力では変わらない事も現状としてある為、学園として対応してもらえると有難い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の権利擁護、意思尊重の視点を職員間で確認する機会を設けます。 ・いかなる時も、あつてはならないこととし、今後も子どもの人権を尊重し、心を育てる療育を目指します。 ⑤定期的に職員研修を実施すると共に、日々の職員の行動についてチェックリストを作成し、年3回チェックすることで、職員の意識を高めます。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診や理髪等、やむを得ない際に行う可能性のあるという事を支援計画に記載し、保護者へ説明をして同意を得ている。 ・記載されている。身体拘束が行われた際も、なぜ必要だったのかを具体的に説明している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、身体拘束の適正化に向けて、検討を進めていきます。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。